

ロシアによるウクライナ侵攻に関する市長コメント

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、子どもを含む民間人などの尊い命が失われ、依然として多くのウクライナ国民が生命の危機にさらされている状況に、大変心を痛めております。

他国への軍事侵攻は、いかなる理由をもってしても決して許されるものではありません。また、ロシア大統領による核兵器使用を示唆する発言は、唯一の被爆国である日本において「世界中の誰にも二度と同じ思いをさせてはならない」と懸命に訴えてきた、被爆者の切なる思いを踏みにじる言動です。

核兵器の廃絶と世界の恒久的な平和は、人類共通の願いです。

「非核平和都市宣言」を行っている本市を代表しまして、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や主権侵害に対し強く抗議するとともに、これ以上尊い命が奪われることのないよう、即時のロシア軍撤退と、平和的解決に向けた道を探ることを強く求めます。

令和4年3月22日

旭市長 米本 弥一郎